

協会だより

No.158
平成23年10月発行



秩父消防署 東分署

消したはず 決めつけしないで もう一度

【平成23年度 全国統一防火標語】

定例評議員会を開催

平成23年6月3日(金) 秩父消防本部4階講堂において、平成23年度定例評議員会が開催され「平成22年度事業報告及び歳入歳出決算報告」及び「平成23年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)」とも原案どおり、承認可決されました。

また、(公社)埼玉県危険物安全協会連合会表彰伝達及び本会優良防火管理者等の表彰が行われました。

1 平成22年度主な事業結果報告

①講習関係

- (1) 危険物取扱者試験準備講習会
- (2) 危険物取扱者保安講習会
- (3) 甲種防火管理新規講習会
- (4) 甲種防火管理再講習会

②広報関係

- (1) 協会だより (年3回発行)
- (2) 火災予防運動用ポスターの購入、配布
- (3) 秩父消防音楽隊、秩父地区少年婦人防火委員会、幼年消防クラブへの協力
- (4) 広報用防火ビデオテープの貸出
- (5) 社会科見学の児童に協会名入りの筆記用具セットを配布
- (6) デジタルカメラの購入

③表彰関係

- (1) 埼玉県危険物安全協会連合会表彰伝達
優良危険物事業所表彰 1事業所
優良危険物取扱者表彰 2名
優良普及啓発活動表彰 1事業所
- (2) 秩父防火安全協会
優良防火管理者3名 感謝状2名

④その他

- (1) 各種会議
- (2) 春・秋の火災予防運動に協力
- (3) 地下タンク等漏洩点検の促進
- (4) 住宅用火災警報器の設置、普及促進

2 平成22年度決算

歳入決算額	3,488,434円
歳出決算額	3,069,535円
差引残額	418,899円

3 設立50周年記念事業について

平成24年に協会設立50周年を迎えるにあたり記念事業を計画しておりますが、そのための積立金の状況は次のとおりです。

前期繰越金	3,089,989円
受取利息	1,236円
22年度積立金	450,000円
合計	3,541,225円

4 基本財産の積立状況について

昭和58年から積立を行っております基本財産の積立状況は次のとおりです。

前期繰越金	2,578,825円
受取利息	1,032円
22年度積立金	100,000円
合計	2,679,857円

6 平成23年度歳出予算内訳

事業費	1,490,000円
会議費	170,000円
事務費	320,000円
負担金	400,000円
積立金	500,000円
予備費	51,899円
歳出合計	2,931,899円

7 平成23年度主な事業計画

①講習

- (1) 危険物取扱者試験準備講習会の協力
- (2) 甲種防火管理新規講習会に協力
- (3) 甲種防火管理再講習会に協力
- (4) 危険物取扱者保安講習会の協力
- (5) 防火講演会の開催
- (6) 危険物関係、その他講演会の開催

②研究調査

- (1) 特殊火災発生地、その他の災害状況視察
- (2) 防火対策資料の収集研究
- (3) 危険物取扱者保安講習会に協力
- (4) 防火講演会の開催
- (5) 危険物関係、その他講演会の開催
- (6) 会員研修会

③広 報

- (1) 会報の発行、配布 (年2回)
- (2) 春・秋の火災予防運動に協力
※防火ポスター購入、配布
※防火ビデオテープ購入及び映画フィルム、
防火ビデオテープの貸出
※防火講習会及び防火映画会の開催
- (3) 広報資料・粗品等購入、配布
- (4) 秩父消防音楽隊の広報活動に協力
- (5) 秩父地区少年婦人防火委員会・秩父地区婦
人消防連合会に協力
- (6) 危険物安全週間広報

④表 彰

- (1) 優良防火管理者の表彰
- (2) 優良危険物取扱者の表彰
- (3) 協会協力者に対する表彰

⑤諸 会 議

- | | | | |
|------------|---|---|---|
| (1) 定例評議員会 | 年 | 1 | 回 |
| (2) 正副会長会議 | 年 | 2 | 回 |
| (3) 理 事 会 | 年 | 1 | 回 |
| (4) 監 査 会 | 年 | 1 | 回 |
| (5) 役 員 会 | 年 | 1 | 回 |



⑥その他

- (1) (公社)埼玉県危険物安全協会連合会と
緊密な連絡を図る
- (2) 地下タンク等漏洩点検の促進協力
- (3) 住宅火災警報器の設置の普及促進

◆ (公社)埼玉県危険物安全協会連合会 長表彰

★ 優良危険物事業所表彰

- ・ 秩父電子(株)
- ・ 社会福祉法人 秩父福祉会
特別養護老人ホーム 白砂恵慈園

★ 優良事業所表彰

- ・ 医療法人 全和会 秩父中央病院 藤松 将 治

★ 優良普及啓発活動表彰

- ・ 菱光石灰工業(株)宇根鉱山 坂 輪 博
- ・ 第一産業(株)大野原給油所 梅 澤 文 雄

◆ 秩父防火安全協会長表彰

★ 優良防火管理者表彰

- | | |
|--------------|--------|
| ・ (有)新木鉱泉 | 坂本 博 |
| ・ (株)TJMデザイン | 高子 昌 貢 |
| ・ 国神保育園 | 倉持 光 恭 |

★ 感謝状

- | | |
|----------|---------|
| ・ 前事務局幹事 | 根 岸 清 幸 |
|----------|---------|

◆ 平成23年 秋の全国火災予防運動実施

期間 平成23年11月9日(水)～11月15日(火)

この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施しているものです。

重点目標

【1】住宅防火の推進

新築住宅については、住宅用火災警報器の設置が進んでいるところですが、既存住宅についても住宅火災による死傷者の低減という目的を踏まえ安心・安全な町造りの一環として早急な設置を推進しています。

【2】放火火災・連続放火火災防止対策の推進

放火が平成9年以降平成21年まで10年以上連続して出火原因の1位となっています。住宅周辺の死角になりやすい箇所の可燃物の整理整頓をもう一度見直してください。

【3】消火器の適正な維持管理の推進

火災による被害は、初期消火により左右されます。

消火器の適正な維持管理・使用方法の習熟につとめてください。



住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

3つの習慣・4つのポイント

3つの習慣

- ・寝たばこは、絶対やめる。
- ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- ・逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- ・寝具や衣類からの火災を防ぐために、**防災製品**を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

第25回 幼年消防クラブ秩父地区大会開催



秩父地区少年婦人防火委員会

今年も10月13日(木) 秩父ミュージックパーク 野外ステージで第25回幼年消防クラブ秩父地区大会が行われました。23クラブ650名のクラブ員に対し、火災予防及び防火意識の高揚を図り、防火の輪を大きく広げることができました。

当協会は後援団体としてこれに協力しています。

甲種防火管理新規講習会開催

去る6月16日(木)・17日(金)の2日間にわたり秩父消防本部において、甲種防火管理新規講習が実施されました。

本年も受講希望者が多く会場一杯の80名の方が受講され、資格を取得しました。

- ※来年度も6月中に開催する予定です。
詳しくは、予防課までご連絡下さい。
(電話：21-0121)



甲種防火管理再講習について



平成15年6月消防法令の改正により、防火管理業務を適切に維持していくための必要な知識、技能の更新を図るため再教育の受講が義務付けられました。

消防法施行令別表第1に定める特定用途防火対象物【同令別表第1(16の3)項を除く】で収容人員が300人以上のものの防火管理者は、5年ごとに再講習が義務付けられ、平成18年4月1日から施行されています。

- ※平成24年2月中に、甲種防火管理再講習を秩父消防本部にて開催予定です。
詳しくは、予防課までご連絡下さい。(電話：21-0121)

緊急消防援助隊として被災地に出場して

秩父消防署 消防第1課救急隊 黒 沢 武 徳

東日本大震災による緊急消防援助隊派遣として秩父消防本部から救急隊が派遣されました。私も緊急消防援助隊派遣隊員として出場させて頂きましたので、被災地での活動についてお話しさせていただきます。

私が派遣されたのは緊急消防援助隊埼玉県第10次隊で、秩父消防本部として最後の派遣となる4回目の派遣でした。

活動内容は平成23年5月24日～5月28日までの5日間、福島県消防学校に救急部隊が集結し出場態勢を取ることでした。

この時期は東日本大震災が発生して2ヶ月以上が経過しての出場であり、救急救命活動は終了しており災害の復旧作業が行われている時期でしたが、消防の現地撤退命令が出ておらず出場態勢は維持している状態でした。

待機場所は福島県消防学校で福島市の郊外に位置し、埼玉県隊の他、東京消防庁隊、群馬県隊が待機していました。

秩父消防本部の緊急消防援助隊が災害現場まで出向するのは今回の派遣が初めてのことであり、災害派遣地は福島原子力発電所に近い地域とあって待機する隊員の間でも独特の緊張感がありました。

皆さんもご存じの通り東日本大震災では甚大な被害が沿岸地帯を中心に発生しました。

また、原子力発電所から放出される放射線の被害が指摘され、出場隊は放射線の被曝量を計測するための線量計、サーベイメーターを持参、被曝量や危険地域を把握し、出場時に備えタイベックス防護服や救急車内用の養生シートの準備をしていました。

消防学校では車庫内に待機し、寝室は体育館、食事はもっぱらレトルト食品を食べていましたが被災者の皆さんのことを考えると文句を言う人は誰もいませんでした。

基本的に1日中、車庫内での待機ですが、慣れない場所で、初めて会う隊員と活動し、経験のない災害ということで常に不安と緊張感がありました。

派遣2日目から現場を把握する必要等から被災地の調査ができることとなり、思いがけず被災地の状況を調査することができました。

秩父救急隊は相馬市、南相馬市及び広野町、いわき市など原子力発電所の南北を調査してきました。テレビや雑誌等で被災地の状況は毎日のように目にしていましたが、実際、道路脇に大型船が座礁しているところや海岸沿いの地域一帯が、瓦礫の山となっているなかに身を置くと絶望感がこみ上げてきました。

立ち入り禁止地域に近づくとタイベックス防護服をきた自衛隊員などが目につき、まだまだ危険で復旧には相当の時間を要すると感じました。

今回、緊急消防援助隊派遣隊員として出場させてもらい災害出場はなかったにもかかわらず



らず、常に緊張感がある現場で過ごし、帰署したときには疲れとともに日常生活がいかに平和であったか思い知らされた感じがしました。

東日本大震災以上の被害が想定される地震が、今後数十年以内に起きる可能性は十分あります。東海、東南海地震や首都圏直下型地震などが起きたときには、秩父地方にも大きな被害が出る可能性は十分あります。

今ほど防災に対する意識が高揚している時期はありません。このような災害が起きる前に又は起きたときに、消防署、消防団、役場職員、地域住民の皆さんの協力が必要となると思います。

今後とも消防に対しご理解御協力をお願いいたします。



平成23年 火災・救急・救済の実態

火災

平成23年 月別火災統計（広域）

平成23年上半期(1月から6月)の火災件数は昨年同期27件と比較し、17件の増加となっています。

区分 月別	火災件数								り災棟数			死傷者		焼損面積等			損害額(千円)				り災世帯り			
	建物		林	車	その他	合計	全損	半損	小損	死	傷	建物 ㎡	林野 a	車両 台	建物	収容物	その他	合計	全損	半損	小損	災害者数		
	全焼	半焼																						
1月	2	1	1	1	2	4	9	5	1	4	2	4	359	50		9,750	5,308	1	15,059	1	1	2	9	
2月	1			2	1	2	7	1		2			106		2	2,489	189	220	2,898	1		2	10	
3月			4	2		3	10			4	1	3	12	1	2	1,464	43	222	1,729			2	6	
4月	2	2		2		4	10	2		2	1		306	320	1	7,671	4,409	2,229	14,309					
5月	1			1		2	4	1	1	5			183		1	11,158	1,002	128	12,288	1	1	5	18	
6月	1	1	2				4	5		3			217			2,694	299	3	2,996	1		3	7	
合計	7	1	7	6	5	3	15	44	14	2	20	3	8	1,183	371	6	35,226	11,250	2,803	49,279	4	2	14	50

救急

平成23年 月別救急出場件数

平成23年上半期(1月から6月)の救急件数は昨年同期2175件と比較して145件の増となっています。

事故種別 覚知月	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材等	その他	合計
1月	3			33	3		49	3	4	263	67	1		3	429
2月	1			40	2	1	47	1	3	233	51	1	1	1	382
3月	3			36	2	1	51	2	5	260	57		1	5	423
4月	1			47	6	1	57	1	6	207	46			3	375
5月				43	4		48	3	13	213	41	1		4	370
6月				37	3	4	43	1	9	181	57			6	341
合計	8	0	0	236	20	7	295	11	40	1,357	319	3	2	22	2,320

◆お知らせ

★危険物取扱者試験準備講習会

期別	種類	講習日	会場	受付期間
13期	乙種4類	11月19日(土)／20日(日)	熊谷市立勤労会館(熊谷市)	秩父消防本部へお問い合わせください
14期	乙種4類	11月24日(木)／25日(金)	埼玉県民活動総合センター(伊奈町)	
15期	乙種4類	平成24年1月28日(土)／29日(日)	所沢市消防本部(所沢市)	
16期	乙種4類	2月4日(土)／5日(日)	さいたま市文化センター(さいたま市)	

※ 日程・講習会場は変更となる場合があります。

受講料	甲種	会員：6,700円	非会員：7,700円	
	乙種第4類	会員：5,700円	非会員：6,700円	
テキスト代	危険物必携(法令編)	1,300円	危険物必携(実務編)	1,300円
	甲種例題集	1,200円	乙種第4類例題集	1,400円

★危険物取扱者試験

回数	種類	試験日	試験会場	願書受付期間(書面申請の場合)
第8回	全類	平成24年 2月26日(日)	東京国際大学(川崎市)	平成24年1月18日(水)～1月27日(金)

※ 日程・試験会場は変更となる場合があります。

★消防設備士試験

回数	種類	試験日	試験会場(受験地)	願書受付期間(書面申請の場合)
第2回	全類	平成24年2月5日(日)	獨協大学(草加市)	12月22日(木)～平成24年1月6日(金)

※ 日程・試験会場は変更となる場合があります。

受験願書及び各講習会の申込書は、協会事務局(秩父消防本部 予防課)に用意してあります。
危険物取扱者試験及び消防設備士試験の願書受付は、(財)消防試験研究センター埼玉県支部で行います。(郵送)

秩父広域消防出初式

恒例の秩父広域消防出初式が、平成24年1月7日(土)秩父消防本部(署)において行われます。

消防出初式は消防職員の日頃の積み重ねた訓練や消防技術を皆様に披露し、消防を広くご理解いただくものです。

当日は、観閲・部隊点検・救助訓練・消防音楽隊の演奏等が行われる予定です。多数の皆様にご来場いただきますようご案内いたします。



編集後記

この度、東日本大震災の被害に遭われた皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

当協会では随時会員を募集しております。お知り合いの事業所、まだ入会されていない事業所がありましたらご紹介ください。

今後とも安心・安全な町づくりに寄与していきますのでご理解、ご協力をお願いいたします。

会員募集

秩父防火安全協会事務局
☎ (0494) 21-0121